



日本共産党北区区議会議員  
**さがら としこ**  
区政レポート  
日本共産党議員団  
2016.3.31. NO.1391.  
ご相談はお気軽に  
TEL FAX とも **3905-0970**  
さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)



いよいよ4月、新年度を迎えます。国民の願いをこみに  
じって、安倍政権の暴走。歴史の逆行はさせません。

## 3月29日 安倍・自公政権は、 憲法違反の戦争法を施行

●戦後初めて、自衛隊が海外で殺し殺される道にふみこもうとする安倍政権。「主権者である国民は断じて、憲法違反は許さない」という声をあげつうけてゆきましょう。「だれの子ども、子孫もひ孫もこころさせない」と、ママの会やシニアズの皆さんと、

**戦争法を発動させない決意を示す  
2000万人署名の一日も早い達成を**

さらに、参院選、衆院選では、  
**日本共産党の議席増と、野党共闘の候補を必ず国会に。私も政策を語り抜いて、がんばります。どうぞ、お力添えをよろしくおねがいします。**

**山添拓さんと池内さおり議員  
そろっての演説会にお出かけ下さい。**

# 戦争法廃止へ3万7千人



戦争法廃止を訴えてコールするシールズのメンバーたち=29日、国会正門前

未来のため安倍政権倒す

3/30、衆議院小選挙区の、オ1次発表がありました。(東京都内分)

**「アベミクスで経済破たん、格差拡大」  
共産党の小池晃議員「抜本的な転換を」**

**超富裕層1人が、  
10万世帯分の  
資産を保有している**

●29日の参院予算委員会。これほど格差が拡大していることが明らかになりました。びっくりする数字です。  
**10%増税はきっぱりやめよ。**

**日本共産党演説会**  
4月2日(土)午後2時  
赤羽会館講堂  
主催/日本共産党北区委員会 ☎3906-2821

衆院議員 **笠井 亮**  
衆院議員 **池内さおり**  
弁護士 **山添 拓**

●**くらし・住宅についてのご相談は... 3905-0970へ**



## 議会の品位を汚す公明党 異様な日本共産党攻撃

●「反共攻撃は戦争の前夜」といわれ、黙ってみずぐすことはできません。日本共産党宇都宮章議員の討論を紹介はす。

私はここで、今回の予算特別委員会の中で、わが党の機関紙「しんぶん赤旗」や、区内で活動する団体に対しておこなわれた一連の発言についてふれておきたいと思います。

公明党の委員は、「しんぶん赤旗」が介護保険制度の問題で「おどろおどろしい紙面」を使って、ありもしない不安をかりたてているとのべました。しかし、特養ホームの入所を原則要介護3以上にしたこと、北区でも待機者が約200人も減少しました。これらの人たちは、入所の希望がなくなったのではなく、制度改悪によって、申し込みの対象から外されたのです。また、要支援1、2の人を保険から外し地域支援事業に移行させる問題では、北区では関係機関などの努力によって現行サービスを維持することができましたが、多くの自治体で緩和されたサービスやボランティアによる対応が広がっています。さらに、要介護1、2を保険から外そうと議論されている問題では、政府が主催する会議の中で日本医師会の会長からも、「要介護1、2の人を切り捨てることはできない。家族介護が必要になり、介護離職ゼロも達成できなくなる」との発言が出されています。

「ありもしない不安」どころか、実際に噴出してきている介護保険改悪への怒りの声は、いくら「しんぶん赤旗」に八つ当たりしたところで、押しとどめることはできません。

さらに、公明党は、日本医療福祉生協連が発行しているチラシや新日本婦人の会が展示しているちぎり絵をとりあげて、内容に問題があるなどのべました。しかし、自主的な団体が医療や介護制度の改悪を批判したり、現政権の退陣をうながすことは、憲法で保障された表現の自由に属することであり、その内容に何ら問題がないことは理事者の答弁でも明らかです。自分たちに都合の悪いことを言われたからといって、当該団体が反論もできない委員会の場で一方的な決めつけをおこない、非難するなどということは、極めて公平性に欠ける議論です。しかも、医療介護連携や男女共同参画事業など区の施策にも長年にわたって協力してきたこれらの団体に、理事者まで巻き込んで区から指導をおこなえなどと執拗に迫る質疑は、常軌を逸したものとしか思えません。

安保健法を戦争法と呼ぶのが正しいかどうか、消費税増税が区民のためになるのかどうか、介護保険の制度改悪で利用者に影響が出ないのかどうか、安倍政権は存続すべきか退陣すべきか—これらはいずれも堂々とした政策論争で問うべき問題です。政府の一員として自ら進めた政策によって生じている国民の不安や怒りを、団体などが発行する宣伝物をたいて抑え込もうというのは、まともな政策論争を回避する姿勢だと指摘しておきます。

区議会第1回定例会

日本共産党が

# 予算組み替え動議

## 日本共産党の予算組み替え提案

- ①待機児解消のため、あらゆる区有施設を活用した認可保育所の増設。保育士の確保と処遇改善
- ②浮間唯一の路線、国際興業赤06系統への運行支援継続。新たなコミュニティバス路線の計画化
- ③国保料、介護保険料、後期高齢保険料を引き下げるための区独自の軽減策
- ④寡婦(夫)控除のみなし適用を、就学援助をはじめあらゆる制度に実施
- ⑤第2子の保育料・学童保育育成料の無料化。認証保育所の保育料補助増額
- ⑥子ども学習支援の高校生までの対象拡大と「子ども食堂」など子どもの居場所づくりの推進
- ⑦就学援助の入学支度金前倒し支給
- ⑧ひとり親家庭、低所得者に対するファミリー・サポート利用料の減額
- ⑨若者、子育て世帯に対する家賃助成制度創設
- ⑩特別養護老人ホームのさらなる増設
- ⑪民間空き家を高齢者、子育て世帯、若者などへの公営住宅として提供する制度の創設
- ⑫高齢者緊急通報システムの普及拡大
- ⑬65歳以上の障がい者が介護保険を利用する際にかかる新たな負担の軽減
- ⑭木造民間住宅の耐震助成のさらなる増額
- ⑮住宅リフォーム助成制度の拡充と新たな店舗リフォーム助成の実施
- ⑯感震プレーカーの設置助成
- ⑰家具転倒防止器具助成の拡充

## 貧困と格差の是正など17項目

自民党、公明党など与党会派が反対し可決されず

23日の区議会第1回定例会最終本会議で、日本共産党北区議員団は北区の一般会計予算に対する組み替え動議を提出し、区民の切実な願いを実現する予算に切り換えるよう求めました。

組み替え動議の提案理由では、「アベノミクス」の破たんが明らかになるもて貧困と格差が深刻に広がっているにもかかわらず、新年度予算が区民の暮らしを十分に応援するものとなっていないことを指摘。過去最高に積み上がった530億円

の基金も活用し、子どもの貧困解決、困窮家庭や低所得者に対する支援強化を柱とした17項目(左枠内参照)の実現を訴えています。

賛成討論にたった宇都宮章議員は、「260人以上の待機児が見込まれる保育所の増設や区民の足を守るバス路

線の確保など、どれも区民の切実な要求ばかり。140億円も積み上がっている財調基金の一部を活用すれば実現可能で、やる気さえあればすぐにでも予算化できる提案だ」と強調しました。

討論の後、採決に付され、自民、公明など与党会派が反対したために、組み替え動議は可決されませんでした(賛成は共産・新社)。